

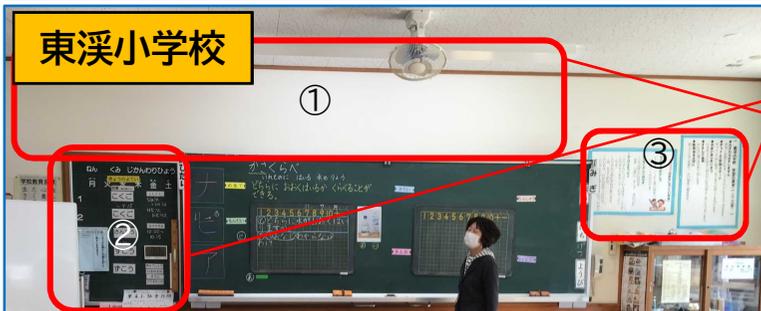
令和4年度 第2回 学校訪問での好事例

①「学びに向かう力」を涵養する「教室環境」

日田教育事務所

教室の「ユニバーサルデザイン」化

東溪小学校



- ① 掲示物を精選し、前面黒板周辺をすっきりさせる。
→ 視覚刺激に敏感な児童生徒への配慮
- ② スケジュールの変更や追加があるときには視覚的にわかりやすくしている。
- ③ 分かりやすいきまりの明示

学習に集中できる環境 → 落ち着いて過ごせる学級



若宮小学校

特別支援学級においては見通しが持てるようにそれぞれのスケジュールを可視化



高瀬小学校

- 3年生1組(左)と2組(右)の教室背面掲示
- ・ 側面や背面は、各学年で必要なものを検討し学年毎に統一
- ・ 情報共有を図り、児童に統一した指導
- ・ ミドルの掲示を「真似」することで経年数の浅い教員の資質向上につながる(有機的なOJT)

人材育成

多様な考え方や意見が出てくるための工夫

掲示物の工夫

成功体験・達成感の蓄積



津江小学校



石井小学校

これまでの成功体験やそれぞれの長所や個性を認め合える活動の掲示 → 安全・安心な環境づくり

子どもたちの姿(写真)やノートのごんごんがよかったのかを具体的に伝え共有

自力解決の手がかりとなる既習事項の掲示



小野小学校



朝日小学校



三和小学校



日隈小学校

授業のねらいに応じた様々な学習の形態(机配置)



前津江小学校



「言語能力」の育成に向けた友だちとの対話が安心してできる環境として「コ」の字に配列した机

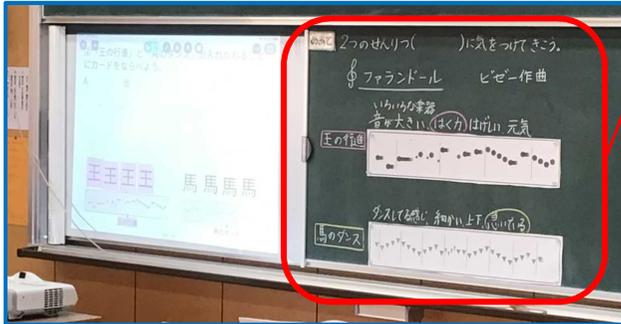
令和4年度 第2回 学校訪問での好事例

②ICTの「有機的」な活用

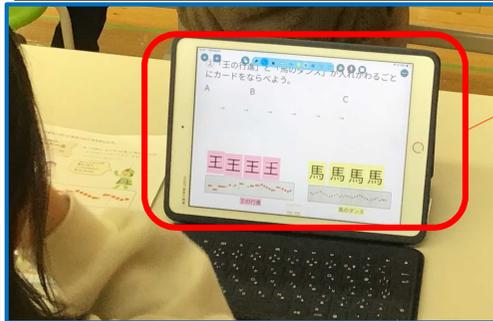
日田教育事務所

ICT活用の新たな発想

咸宜小学校 4年2組 山元優子教諭 音楽「せんりつの重なりを感じ取ろう」



○本時のねらい
「ファンダール」の旋律の特徴や反復、重なりについて、**図形楽譜**を指で**なぞったり**グループで話し合ったりする活動を通して、曲の構成に気づいて聴くことができるようにする。



音楽の旋律という見えないものをICTを活用して「可視化」。曲の構成の理解に繋げている。

「これは『馬』の旋律だな」、「今度は『王』だ」と思考しながら鑑賞する児童

問題解決につながる「思考ツール」としてのICT活用

先進校の日常的な活用～文房具としてのICT



大山中学校
音楽

合唱祭に向けて班ごとに終結部をどう工夫するか話し合う場面で意見の共有のためロイノートを活用。自分たちの合唱をよりよくするという**目的が明確**。**意義ある共有**。



南部中学校
理科

水溶液の中和実験の経過をタブレットで撮影。撮影した動画を繰り返し視聴することで自分たちの仮説が立証できたか検証し、**確固とした知識**を習得。

三芳小学校



1年生体育



2年生国語



4年生理科



6年生外国語